

# 2005年度 愛知大学後援会課外活動奨励賞授与式 愛知大学同窓会奨励賞授与式



日時 | 2006年2月25日(土)11:00～  
場所 | 愛知大学車道校舎 3階コンベンションホール

## プログラム

- |                |               |                         |
|----------------|---------------|-------------------------|
| 1. 開式          | 4. 受賞者選考結果報告  | 7. 受賞者代表謝辞              |
| 2. 愛知大学後援会会長挨拶 | 5. 奨励賞授与      | 8. 閉式                   |
| 3. 愛知大学同窓会会長挨拶 | 6. 愛知大学学長激励の辞 | 9. 受賞祝賀パーティー(1階カフェラウンジ) |

愛知大学後援会／愛知大学同窓会

## ●愛知大学創立60周年記念特別奨励賞

団 体

あい ち だいがくりゅう か さいじつこう い いんかい  
**愛知大学寮歌祭実行委員会** (代表者：浅井 琢朗氏)



### 「大学寮歌祭」への積極的な取り組み

本間喜一元学長の「旧制愛知大学は日本寮歌祭に参加できる有資格校だ。ぼくの最後の願いは日本寮歌祭に参加することだ」の一言に端を発し以来20余年、日本寮歌祭をはじめ全国各地の寮歌祭に逍遙歌「月影砕くる」をひっさげ参加し、愛知大学の名を広く全国に知らしめた。この功績を高く評価し参加する多くの会員の代表として浅井琢朗、杉浦威志、由比淳子等の諸兄姉に開学60年の歴史の年にあたり愛知大学創立60周年記念特別奨励賞を贈る。

## ●最優秀奨励賞

個 人

いわ せ ひと き  
**岩瀬 仁紀氏** | 1997年経済学部卒業



### 2005年 46セーブのプロ野球新記録を樹立

◆推薦要旨◆ 打者の目の前で鋭く曲がる高速スライダーを武器に日本を代表するセットアップパーとして活躍中。1998年に佐々木主浩氏(元横浜ベイスターズ)が達成した年間最多セーブ記録を7年振りに更新しただけでなく、プロデビューから7年連続して50試合以上に登板し、「鉄腕」と称され活躍する姿は多くのプロ野球ファンを魅了している。

◇略歴◇ 1997年 愛知大学経済学部卒業/1998年 NTT東海を経てドラフト2位で中日ドラゴンズ入団/1999年,2000年,2003年 最優秀中継ぎ投手賞受賞/2004年 アテネオリンピック野球チームに日本代表として出場/2005年 46セーブの日本新記録を樹立し、最優秀救援投手賞を受賞

よね やま  
**米山 みどり氏** | 1995年経済学部入学



### 優勝回数通算6回、強靱な精神力で復活を遂げる

◆推薦要旨◆ 高校進学時からゴルフに本格的に取り組み、本学在学中に女子アマチュアゴルフの最高峰を極める。プロに転向後も抜群の安定感だけでなく「勝ちに行く」ゴルフで活躍中。ここ数年は原因不明の体調不良で苦戦するも、幼い頃に剣道で鍛えた精神力で2005年シーズンにツアー2勝を挙げて復活。

◇略歴◇ 1995年 愛知大学経済学部入学、日本女子アマチュア選手権大会優勝/1998年 プロテスト合格(70期生)/フジサンケイレディスクラシックで日本人の最速記録(合格後370日目)で初優勝 LPGA最優秀選手賞、日本プロスポーツ新人賞を受賞/2005年 ツアー2勝 賞金ランキング7位

## ●優秀奨励賞

個 人

おお おか たつ  
**大岡 立氏** | 1972年経済学部卒業



### 個性的な画風で似顔絵製作・出版

◆推薦要旨◆ 現在週刊朝日の人気コーナー「山藤章二の似顔絵塾」特待生として、有名人の特徴を捉えた個性的な似顔絵を多数発表しているほか、似顔絵本の出版、個展の開催、カルチャーセンターの講師等幅広く活動し、多くのファンを得ている。

◇略歴◇ 1972年 愛知大学経済学部卒業、(株)ユニー就職/1986年 週刊朝日・山藤章二の似顔絵塾に投稿。初投稿の「吉田照美」で初入選/1989年 週刊朝日・山藤章二の似顔絵塾に「浜田幸一」で作品賞受賞/1990年 第9回週刊朝日似顔絵大賞グランプリを受賞/1997年～ 専業似顔絵作家として、個展開催、イベント参加、似顔絵塾講師として活躍中

# ● 奨励賞

## 個人

なるせ  
**成瀬 さよ子氏** | 1969年短期大学部卒業



### 東亜同文書院関係目録の編纂・完成

◆推薦要旨◆ 本学の前身である東亜同文書院関係の資料を整理し、目録を編纂・完成させた。また、アメリカの諸大学を訪問し各図書館、研究機関における書院関係資料の収蔵状況、活用状況を調査し、帰国後、日本国内で報告会・研究会を行なうなど学生や研究者への支援を続けている。

◇略歴◇ 1969年 愛知大学短期大学部文科卒／現在 愛知大学豊橋図書館事務課係長

かど きよし  
**門 暉代司氏** | 1974年文学部卒業



### 本居宣長学の普及・啓発

◆推薦要旨◆ 三重県下の地域史の編纂委員として調査・編纂・刊行事業に携わる。埋もれた地域史料を発掘し、史料目録等の刊行を行い、また、「宣長学」研究者の全国的な学会「鈴屋学会」の創設に携わり、地域文化や歴史の調査・研究に尽力している。

◇略歴◇ 1974年 愛知大学文学部史学科卒業／同年 松阪市役所入所、以降、本居宣長記念館研究員、松阪市史編纂室員、文化財保護担当、総合政策部政策課長等を歴任し、2004年退職。2005年4月より本居宣長記念館館長（兼財団法人鈴屋遺蹟保存会理事）に就任、現在に至る。

わたなべ しんじ  
**渡辺 真次氏** | 経営学部3年次生



### 愛知万博における「名古屋エコネット」活動の代表者

◆推薦要旨◆ 総合科目「科学と社会」ゼミ長として環境問題に取り組む。今年度、愛知万博ささしま会場にて開催された「名古屋エコネット」で「採算の取れるビジネス活動として環境問題の解決に取り組むべき」と訴え、マスコミをはじめ多くの関係者に注目された。

◇略歴◇ 2003年 愛知大学経営学部入学

## 団体

あいち だいがくおうえんだん おおかわ ともしろ  
**愛知大学応援団（代表者：大川 知洋氏）**



### 伝統と地域社会への貢献

愛知大学の広告塔として大学内の応援のみならず、スリランカ沖地震、パキスタン地震の際も駅前での街頭募金活動を展開、また、中学校・高校への演舞指導、地域団体の記念行事への参加など、地域に愛される応援団ということでマスメディアにも数多く取り上げられている。

東海地区の大学において、唯一54年の伝統を持ち、一度も途絶える事無く伝統が引き継がれている。

あいち だいがくけいざいがくよ いわきまさや  
**愛知大学経済学部 岩崎正弥ゼミ**



### 中山間過疎地域への活性化を目指した継続的な取り組み

「中山間過疎地域の諸問題および地域づくりに関する調査研究」をテーマとし、調査対象地域との継続的な交流を通して、現場の地域づくりに役立つ研究を行なっている。

2005年度は愛知県豊根村三沢地区、下黒川地区を調査研究地域とし村民宅に宿泊しながら交流の機会をもち、地域づくりをめぐる村民意識、生活調査をヒアリングの手法で実施した。

## 愛知大学同窓会奨励賞授与取扱要領

### 目的

本取扱要領は、本会会員（滬友会、推薦校友を含む。）並びに愛知大学関係者（教職員、在学生等）が社会・文化・学術・芸術・スポーツ等の分野に於いて活躍し、本会又は大学の榮譽を高め、かつその分野の発展に寄与した個人又は団体に対し、その労をねぎらうため、愛知大学同窓会（以下「同窓会」という。）が「同窓会奨励賞」を授与するために定める。

### 表彰

表彰は、会員から推薦のあった個人及び団体に対し、選考の結果、個人にあっては表彰状並びに副賞（記念品）、団体にあっては表彰状並びに副賞（奨励金）を授与する。

### 推薦

候補者の推薦（自薦を含む。）は、毎年12月20日までに社会・文化・学術・芸術・スポーツ等の分野で活躍のあった個人又は団体について、活躍の内容をまとめた推薦書（800字程度）を同窓会会長宛に提出する。但し、叙勲及び功労賞等の授賞者は対象から除くものとする。

### 選考

会員から推薦のあった個人及び団体について、同窓会広報委員会で選考し、同窓会常任理事会で決定する。

### 表彰の種類

表彰の種類は、個人、団体とも次のとおりとする。

|                      |                     |                     |
|----------------------|---------------------|---------------------|
| A.最優秀奨励賞（全国レベルでの活躍）  | B.優秀奨励賞（地域レベルでの活躍）  | C.奨励賞（一般的な活躍）       |
| 団体……奨励金 10万円 個人……記念品 | 団体……奨励金 5万円 個人……記念品 | 団体……奨励金 3万円 個人……記念品 |